

事業実績書

事業名	ぬまづろう乳幼児支援事業の実施に向けた研修活動	
場所	沼津市 サンウエルぬまづ	
期間	令和3年 4月 6日 ~ 令和4年 3月 31日	
	日程	実施項目・作業項目
事業内容	<p>※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。 イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など)</p> <p>令和3年度より、沼津市手話言語条例推進協議会の中に、事業に特化した部会を立ち上げる。ろう乳幼児手話獲得事業もその一つで、部会メンバーとして新たにろう者1人・通訳者2人・保健師1人、保育士1人を加えた9人で、令和2年度の研修の成果を検証しながら目的等をメンバーで共有する。保健師・保育士を加えたことで、事業に向けての理念だけでなく、具体的な内容も進んだ1年だった。</p> <p>横浜国大准教授の臨床心理士の後藤先生に事業開始後のアドバイザーをお願いしたく、メールのやり取りをした結果、7/12のzoom対談が実現する。その後2/23の講演会の開催にこぎつけ、その場でアドバイザーを引き受けていただいた。オンライン講演会「コミュニケーションの発達支援」には34人が聴講した。</p> <p>11/27にプレイベント IN 保健センターを計画し、それに向けての準備を8回行い、リズム体操や劇などを考える。メンバー以外のろう者からの協力もあり、指導を受けながら当日を迎えた。当日は3家族、保護者5人、乳幼児5人の参加があった。第二弾を2/26に実施する予定であったが、まん延防止等措置法の適用により断念せざるを得なかった。</p> <p>12月こめっこ視察を2回に分け計5人で参加できた。</p> <p>こめっこシンポジウムは1/16に1部、1/22に2部を実施し41人が聴講した。</p> <p>令和4年度からの事業実施場所として保健センターをお願いすることにした。乳幼児の6か月・1歳検診など、乳幼児が集まりやすいことと保健師さんに理解をしてほしいと思ったから。2/22に課長・補佐に同行をお願いし保健センターで目的や日程を相談した。令和4年度の事業6回の日程が決まった。</p> <p>令和4年度も目的に沿う事業を展開するために、メンバーで共に切磋琢磨しながら、スキルアップを図っていききたい。</p>	
事業効果	<p>※ 事業計画書において設定した、成果指標に対する実績値を、具体的な数値を用いて記載してください。</p> <p>事業計画書において設定した内容の80%は達成できたと思う。ただコロナ禍で時期は予定通りにはならなかった。</p> <p>事業を実施するときは、必ず3団体（沼津市聴覚障害者の会・手話通訳者の会・手話サークル若葉友の会）に呼びかけ、大勢の参加があった。目的や理念を共有しながら、令和4年度からは協力できる範囲内をお願いしたいと思っている。</p> <p>研修会は12回行った</p>	

自己評価	<p>※ 上記事業効果を踏まえて、事業の自己評価をしてください。</p> <p>令和2年度は手話言語条例推進協議会の中で話し合いを進めてきたが、ろう乳幼児手話獲得事業に特化した部会を立ち上げたことで、研修内容が具体的にスムーズに運べた。</p> <p>令和2年度に引き続き、こめっこの視察での収穫は大きいし、学んだことも多い。今後はこめっこを参考にしながら、沼津独自の活動を考えていく。</p> <p>講演会やシンポジウムに3団体のメンバーに呼び掛けて、事業の目的など共有できたのは次につながる。</p>
今後の活動予定	<p>※ ファンドを利用予定・自己資金で活動・事業の見直し等、今後の展開について記載してください。</p> <p>令和4年度から市の委託事業として、活動していく。</p>